

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

第1学年 国語			
単元名	時数	単元のまとまりの評価規準	
はるが きた	2	知・技	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。
		学び	進んで友達の話に関心を持ち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
おはなしききたいな	2	知・技	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
		思・判・表	「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
		学び	積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。
なんていおうかな	2	知・技	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでい
		学び	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。
かく こと たのしいな	1	知・技	経験に基づき積極的に言うことを考え、学習課題に沿って自分の考えを伝えようとしている。
		思・判・表	平仮名を読み、書いている。
		学び	姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。
どうぞ よろしく	3	知・技	正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組み、自分なりに、字を書く際に気をつけたいことを見つけようとしている。
		思・判・表	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。
		学び	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄
こんな もの みつけたよ	2	知・技	「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしている。
		思・判・表	積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとし
		学び	積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとし
うたに あわせて あいうえお	2	知・技	紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見つけたものをより分かりやすく紹介しようとしてい
		思・判・表	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。
		学び	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。
こえに だして よもう	1	知・技	進んで姿勢や口形、発声や発音に注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。
		思・判・表	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		学び	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
よく きいて はなそう	2	知・技	進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
		思・判・表	音節と文字との関係に気づいている。
		学び	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。
ことばを さがそう	2	知・技	語句の音節と文字との関係を積極的に理解し、これまでの学習をいかして言葉を集めようとしている。
		思・判・表	敬体で書かれた文章に慣れている。
		学び	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		学び	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
		学び	興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

はなの みち	8	知・技	敬体で書かれた文章に慣れている。
		思・判・表	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		学び	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
としょかんへ いこう	2	知・技	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
		学び	積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見つけようとしている。
かきと かぎ	2	知・技	平仮名を読み、書いている。
		思・判・表	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		学び	進んで濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。
ぶんを つくろう	6	知・技	句点の打ち方を理解して文の中で使っている。
		思・判・表	文の中における主語と述語との関係に気づいている。
		学び	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。
ねこと ねっこ	2	知・技	語と語との続き方を丁寧にかめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
		思・判・表	促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。
		学び	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。
わけを はなそう	2	知・技	語と語との続き方を丁寧にかめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
		思・判・表	促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。
		学び	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。
おばさんと おばあさん	2	知・技	進んで促音や濁音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
		思・判・表	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。
		学び	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。
あいうえおで あそぼう	3	知・技	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えていく。
		思・判・表	話す事柄の順序を進んで考えながら、これまでの学習や経験をいかして考えとわけを話そうとしている。
		学び	長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。
つぼみ	9	知・技	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。
		思・判・表	進んで長音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
		学び	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。
おもちゃと おもちゃ	2	知・技	平仮名を読み、書いている。
		思・判・表	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。
		学び	進んで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
	2	知・技	文の中における主語と述語との関係に気づいている。
		思・判・表	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		学び	「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。
			「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。
おおきく なった	5	知・技	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。
おおきな かぶ	7	学び	植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。
		知・技	文の中における主語と述語との関係に気づいている。
		思・判・表	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		学び	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
はをへを つかおう	3	思・判・表	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
		学び	積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。
		知・技	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
すきな こと、なかに	9	思・判・表	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		知・技	進んで助詞の使い方を確かめながら、学習課題に沿って文を作ろうとしている。
		知・技	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。
		思・判・表	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。
		学び	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。
おむすび ころりん	6	思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。
		知・技	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		学び	粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。
こんな ことが あったよ	8	知・技	昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。
		思・判・表	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		学び	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
としょかんと なかよし	2	思・判・表	進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
		知・技	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。
こえを あわせて よもう	2	思・判・表	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
		知・技	「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。
		学び	積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。
		知・技	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
		学び	積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。
		知・技	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		思・判・表	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
		学び	進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

みんなに しらせよう	2	知・技	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。
		学び	積極的に友達の話の聞き、これまでの学習をいかして質問や感想を述べようとしている。
ことばを みつけよう	2	知・技	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。
		学び	積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。
やくそく	9	知・技	文の中における主語と述語との関係に気づいている。 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		思・判・表	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
		学び	進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見通しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。
かたかなを みつけよう	2	知・技	片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。
		学び	身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見つけ、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。
うみの かくれんぼ	9	知・技	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 文の中における主語と述語との関係に気づいている。
		思・判・表	「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。
		学び	粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。
かずと かんじ	5	知・技	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。
		思・判・表	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。
		学び	積極的に数え方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って数え歌を書こうとしている。
くじらぐも	9	知・技	かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		思・判・表	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
		学び	積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。
まちがいを なおそう	2	知・技	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正している。
		学び	進んで文章を見直し、これまでの学習をいかして適切な表記に正そうとしている。
しらせたいな、見せたいな	11	知・技	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。
		学び	知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。
		知・技	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学習領域	
かん字の はなし	6	思・判・表	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		学び	積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。
ことばを たのしもう	2	知・技	音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話している。 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。
		学び	積極的に詩や早口言葉を楽しみ、これまでの学習や経験をいかして、発声や発音に気をつけながら声に出して読もうとしている。
じどう車くらべ	8	知・技	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
		思・判・表	「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
		学び	進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかきたいことを見つけようとしている。
じどう車ずかんを つくろう	6	知・技	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
		思・判・表	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
		学び	分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。
かたかなを かこう	2	知・技	片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。
		学び	片仮名の表記のしかたに気をつけながら、これまでの学習をいかして文の中で片仮名を使おうとしている。
どんな おはなしが できるかな	6	知・技	句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 文の中における主語と述語との関係に気づいている。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。
		学び	物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。
たぬきの 糸車	10	知・技	文の中における主語と述語との関係に気づいている。 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
		思・判・表	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
		学び	場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。
日づけと よう日	2	知・技	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		学び	積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱え歌を作ろうとしている。
		知・技	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

てがみで しらせよう	7	思・判・表	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。
		知・技	「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。
むかしばなしを よもう	10	学び	書いた文章を積極的に見直ししながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。
		知・技	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
なりきって よもう	2	思・判・表	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		学び	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
くわしくきこう	2	知・技	積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。
		思・判・表	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
ことばで あそぼう	2	学び	「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。
		知・技	進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。
どうぶつの 赤ちゃん	12	知・技	身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。
ものの 名まえ	7	学び	「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。
		知・技	積極的に友達の話の聞き、学習の見通しをもって、質問や感想を述べようとしている。
わらしべちょうじゃ	1	知・技	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。
		思・判・表	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。
		学び	積極的に身近なことを表す語句を使った言葉遊びを楽しみ、これまでの学習をいかして語彙を豊かにしようとしている。
		知・技	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
		思・判・表	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
		学び	「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
		知・技	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
		学び	文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしていく。
		知・技	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。
		思・判・表	身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。
		学び	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいく。
		知・技	積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
		思・判・表	昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。
		学び	「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。
		知・技	積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、これまでの学習をいかして内容や感想を共有しようとしている。
		学び	片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

かたかなの かたち	3	思・判・表	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		学び	進んで形の似ている字を探し、これまでの学習をいかして片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。
ことばあそびを つくろう	8	知・技	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。
		思・判・表	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		学び	身近なことを表す語句に積極的に興味をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
		知・技	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
これは、なんでしょう	4	思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。
		学び	粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。
		知・技	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
		思・判・表	「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
ずうっと、ずっと、大すきだよ	11	学び	友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
		知・技	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、文を書き表している。
		学び	進んで漢字の形に注意し、これまでの学習をいかして楽しみながら文を書こうとしている。
にて いる かん字	4	知・技	敬体で書かれた文章に慣れている。
		思・判・表	「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
		学び	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
		知・技	事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。
いいこと いっぱい、一年生	11	思・判・表	「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
		学び	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
		知・技	事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。
		思・判・表	「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

第2学年 国語		
単元名	時数	単元のまとまりの評価規準
じゅんばんに ならぼう	1	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。(A(1)エ) 【態】自分が聞きたいことを粘り強く集中して聞き取り、学習課題に沿って声をかけ合い、正しい順番で並ぼうとしている。
絵を 見て かこう つづけて みよう	1	【知・技】第1学年に配当されている漢字を文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ) 【態】絵の中から進んで書くことを見つけ、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
ふきのとう	9	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) 【態】場面の様子を表す言葉を手がかりに粘り強く物語の内容を確かめ、これまでの学習をいかして音読を工夫し、感想を伝え合おうとしている。
図書館たんけん	1	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) 【態】積極的に図書館の配架や本の並べ方を学び、学習課題に沿って自分の読みたい本を探そうとしている。
春がいっぱい	2	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

日記を書こう	4	【知・技】言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。
ともだちは どこかな	5	【知・技】 ・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ) 【態】自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようとしている。
たんぽぽのちえ	10	【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) 【態】粘り強く時間的な順序を考えて内容を捉え、学習の見通しをもって読んだ文章の感想を書こうとしている。
かんさつ名人に なろう	10	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】書くために必要な事柄を進んで集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、これまでの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。
いなばの白うさぎ	2	【知・技】神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア) 【態】進んで神話の読み聞かせを聞き、これまでの学習をいかして感想を伝え合おうとしている。
同じぶぶんをもつかん字	2	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読み、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字の読み書きに取り組み、学習課題に沿って、同じ部分をもつ漢字を見つけようとしている。
スイミー	9	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) 【態】粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

かん字のひろば①	2	【知・技】 ・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ) 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。
メモをとるとき	3	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に必要な事柄を集め、これまでの学習をいかして知らせたいことをメモに取ろうとしている。
こんなもの、見つけたよ	10	【知・技】句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【思・判・表】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) 【態】事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、読み手に分かりやすく伝える文章を書こうとしている。
あったらいいな こんなもの	7	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) 【態】話し手が知らせたいことを落とさないように粘り強く聞き、学習課題に沿って質問をし合って考えをまとめようとしている。
夏がいっぱい	2	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
お気に入りの本をしょうかいしよう	6	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。
雨のうた	2	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読し、これまでの学習をいかして詩を楽しんで読もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

ことばでみちあんない	3	【知・技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ) 【態】話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って相手を目的地に導く道案内をしようとしている。
みの回りのものを読もう	2	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) 【態】積極的に身の回りのものから重要な情報を読み取り、学習課題に沿って、考えを交流しようとしている。
書いたら、見直そう	2	【知・技】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【思・判・表】「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ) 【態】進んで文章を読み返し、学習課題に沿って間違いなどを正そうとしている。
かん字のひろば②	2	【知・技】第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ) 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして日記を書こうとしている。
どうぶつ園のじゅうい	10	【知・技】 ・文の中における主語と述語の関係に気づいている。((1)カ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) 【態】進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、これまでの学習をいかして、文章を読んで考えたことを友達と話そうとしている。
かたかなのひろば	2	【知・技】片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで片仮名を使って書く語を見つけ、学習課題に沿って文を書こうとしている。
ことばあそびをしよう	2	【知・技】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ) 【態】進んで、言葉の豊かさに気づき、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

なかまのことばとかん字	2	【知・技】 ・第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【態】進んで、言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って仲間の言葉を集めようとしている。
かん字のひろば③	2	【知・技】 ・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ) 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文章を書こうとしている。
お手紙	12	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) 【態】進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。
主語と述語に気をつけよう	2	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) 【態】積極的に、主語と述語の関係に気づき、学習課題に沿って文中から主語と述語を捉えようとしている。
かん字の読み方	2	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読んでいるとともに、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【態】進んで第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字の異なる読み方に気をつけて読もうとしている。
秋がいっぱい	2	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

そうだんに のってください	8	【知・技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでい - る。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ) 【態】積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
紙コップ花火の作り方	14	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して - いる。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) 【態】進んで文章の中の語や文を選び出したり、事柄の順序に沿って分かりやすく伝える書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもっておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。
にたいみのことば、はんたいの いみのことば	2	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあるこ とに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【態】進んで言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って、似た意味の言葉や反対の意味の言 葉の組を作ろうとしている。
せかいーの話	1	【知・技】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) 【態】進んで昔話の読み聞かせを聞いて伝統的な言語文化に親しみ、これまでの学習をいかして、おもしろいと思うこと を共有しようとしている。
かん字のひろば④	2	【知・技】第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ) 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
みきのたからもの	10	【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) 【態】登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こう としている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

お話のさくしゃになろう	10	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) 【態】事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って物語を書こうとしている。
冬がいっぱい	2	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
ねこのこ	2	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】詩を読んで感じたことを進んで共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。
かたかなで書くことば	2	【知・技】片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使っている。((1)ウ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】積極的に、片仮名で書く語の種類を知り、これまでの学習をいかして、片仮名を使って文を書こうとしている。
ことばで楽しもう	1	【知・技】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ) 【態】積極的に、言葉の豊かさに気づき、学習課題に沿って言葉遊びを楽しもうとしている。
ロボット	12	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】文章を読んで、感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとしている。
ようすをあらわすことば	4	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで身近なことを表す語句の量を増やして語彙を豊かにし、学習課題に沿って、様子を表す言葉を使って文を書こうとしている。
見たこと、かんじたこと	6	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ)

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

カンジーはかせの大はつめい	2	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ) 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を読んだり書いたりし、これまでの学習をいかして漢字クイズに取り組もうとしている。
すてきなところをつたえよう	10	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。
スーホの白い馬	14	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習課題に沿って、最も心を動かされたことを伝え合おうとしている。
かん字の広場⑤	2	【知・技】 ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。
楽しかったよ、二年生	8	【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) 【態】行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を粘り強く考え、これまでの学習をいかして発表しようとし
二年生をふりかえって	1	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで、経験したことなどから書くために必要な事柄を集めたり確かめたりし、これまでの学習をいかして、1年間の振り返りを書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

第3学年 国語			
単元名	時数	単元のまとまりの評価規準	
よく聞いて、じこしょうかい	1	知・技	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことの中心を捉えている。
		学び	積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って自己紹介をしようとしている。
どきん	1	知・技	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。
		思・判・表	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
		学び	積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。
わたしのさいこうの一日/つづけてみよう	1	知・技	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。
		学び	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫して経験したことや想像したことなどから書くことを進んで選び、学習課題に沿って日記を書こうとしている。
春風をたどって	9	知・技	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。
		学び	「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。
図書館たんていだん	1	知・技	進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
		思・判・表	読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。
		学び	読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。
国語辞典を使おう	2	知・技	辞書の使い方を理解し使っている。
		思・判・表	
		学び	進んで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。
2年生で習った漢字	2	知・技	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。
		学び	

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
春のくらし	2	知・技	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。
		学び	積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
もっと知りたい、友だちのこと/ きちんとつたえるために	7	知・技	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。
		学び	粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
漢字の音と訓	2	知・技	第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。
		思・判・表	
		学び	進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿ってよりよく漢字を学ぼうとしている。
2年生で習った漢字	2	知・技	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。
		学び	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
		知・技	段落の役割について理解している。 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

文様/こまを楽しむ/全体と中心	9	思・判・表	「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。
		学び	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。
気持ちをこめて、「来てください」	4	知・技	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。
		思・判・表	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。
		学び	粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。
2年生で習った漢字	2	知・技	【第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。
		学び	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
まいごのかぎ	7	知・技	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
		学び	登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。
俳句を楽しもう	1	知・技	易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
		思・判・表	
		学び	進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読しようとしている。
		知・技	指示する語句の役割について理解している。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

こそあど言葉を使いこなそう	2	思・判・表	
引用するとき	3	学び	積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。
		知・技	引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。
仕事のくふう、見つけたよ/符号など	11	思・判・表	書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫してい
		学び	積極的に引用のしかたや出典の示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。
夏のくらし	2	知・技	改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。
			段落の役割について理解している。
		思・判・表	「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。
			「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫して
本で知ったことをクイズにしよう /鳥になったきょうりゅうの話	5	学び	進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。
		知・技	語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。
		学び	積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
		知・技	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。
		思・判・表	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
		学び	

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		すい	進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。
わたしと小鳥とすずと/夕日が せなかをおしてくる	2	知・技	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。
		思・判・表	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
		学び	進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を読んで思ったことや感じたことを話し合おうとしている。
こんな係がクラスにほしい	3	知・技	考えとそれを支える理由や事例について理解している。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。
		学び	進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。
ポスターを読もう	2	知・技	比較や分類のしかたを理解し使っている。
		思・判・表	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。
			「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
		学び	文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
書くことを考えるときは	2	知・技	比較や分類のしかたを理解し使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
		学び	粘り強く集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って夏休みの思い出を書こうとしている。
漢字の組み立て	3	知・技	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。
		学び	漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。
ローマ字	4	知・技	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。
		思・判・表	

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

ちいちゃんのかげおくり	11	学び	進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしてい
		知・技	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。
			「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
修飾語を使って書こう	2	学び	文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。
		知・技	言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。
		思・判・表	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。
秋のくらし	2	学び	粘り強く修飾と被修飾との関係について理解し、学習課題に沿って修飾語を使って文を書こうとしている。
		知・技	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。
おすすめの一さつを決めよう	9	学び	積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
		知・技	比較や分類のしかたを理解し使っている。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでい
すがたをかえる大豆/食べ物の	13	学び	「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。
		知・技	粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。
		思・判・表	比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。
すがたをかえる大豆/食べ物の	13	知・技	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。
		思・判・表	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

ことわざ・故事成語	4	学び	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。
		知・技	目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。
		知・技	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。
漢字の意味	2	思・判・表	積極的にことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。
		学び	漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。
		知・技	
		思・判・表	
短歌を楽しもう	1	学び	積極的に漢字と仮名を用いた表記を理解し、これまでの学習をいかして文や文章の中で使おうとしている。
		知・技	易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
		学び	進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って短歌を音読したり暗唱したりしようとしている。
		知・技	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
2年生で習った漢字	2	知・技	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。
		思・判・表	
		学び	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
		知・技	引用のしかたを理解し使っている。
二年生うけ	7	知・技	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。
		思・判・表	「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。
		学び	
		知・技	

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

二つと二つ	1	心・判・表	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
		学び	登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
わたしの町のよいところ	11	知・技	考えとそれを支える理由について理解している。
		思・判・表	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。
		学び	積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
冬の暮らし	2	知・技	語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。
		学び	積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
詩のくふうを楽しもう	4	知・技	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。
		思・判・表	「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。
		学び	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
四まいの絵を使って	2	知・技	進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。
		思・判・表	】段落の役割について理解している。
		学び	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。
カンジーはかせの音訓かるた	2	知・技	書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。
		思・判・表	第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。
		学び	進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿って漢字の音訓を使った文を書こうとし
		知・技	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている
		思・判・表	
		学び	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

2年生で習った漢字	2	心・ナリ・イ	
		学び	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
ありの行列	8	知・技	言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。
		思・判・表	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
		学び	進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
つたわる言葉で表そう	5	知・技	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
		思・判・表	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしてい 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫して
		学び	言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝える文章を書こうとしている。
たから島のぼうけん	9	知・技	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「書くこと」において、書き表し方を工夫している。
		学び	進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
お気に入りの場所、教えます	9	知・技	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。 「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。
		学び	進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。
モチモチの木	13	知・技	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。
		思・判・表	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。
2年生で習った漢字	2	知・技	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 修飾と被修飾との関係について理解している。
		思・判・表	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。
		学び	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
三年生をふり返って	1	知・技	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
		思・判・表	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。
		学び	進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

第4学年 国語		
単元名	時数	単元のまとまりの評価規準
よく見て、よく聞いて、受け止めよう つないで つないで 教科書：P8	2	【知識・技能】 ◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。((1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ) 【態度】 ・相手の言葉や動きを受け止め、相手が伝えたいことは何かすすんで考え、自分の考えをもとうとしている。
楽しく声に出して読もう 春のうた／あり 教科書：P10	1	【知識・技能】 ◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) 【態度】 ・すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
一 物語の「ふしぎ」について考えよう 白いぼうし 教科書：P14	11	【知識・技能】 ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) 【態度】 ・不思議なできごとが起こるきっかけを見つけながらすすんで物語の「不思議」に思うところを見つけ、「不思議」について考えたことを短い言葉で表し、伝え合おうとしている。
自分の気持ちに合った言葉で表そう 見つけよう、ぴったりの言葉 教科書：P28	4	【知識・技能】 ◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。((1)ア) ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。((1)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・すすんで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、学習の見通しをもって、心が動いたできごとを短い文章で表現しようとしている。

漢字の広場① 漢字の部首 教科書：P30	2	【知識・技能】 ◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。((3)ウ) 【態度】 ・すすんで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。
三年生で学んだ漢字① 教科書：P32	2	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
二 けっかと考察とのつながりをとらえよう ぞうの重さを量る 教科書：P34	2	【知識・技能】 ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C(1)ウ)
二 けっかと考察とのつながりをとらえよう 花を見つける手がかり 教科書：P36	11	【知識・技能】 ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。(B(1)ウ) ◎「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C(1)ウ) 【態度】 ・積極的に、言葉に着目しながら実験内容を読み取り、学習課題にそって、段落相互の関係をおさえながら文章を読もう

読書の広場① 分類をもとに本を見つけよう 教科書：P46	4	【知識・技能】 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。((3)オ) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C(1)ウ) 【態度】 ・分類を手がかりに目的の本を見つけ、読んでわかったことを記録しようとしている。
言葉の広場① 漢字辞典の使い方 教科書：P50	2	【知識・技能】 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) ○漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。((3)ウ) 【態度】 ・積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習の見通しをもって漢字辞典を活用しようとしている。
必要なじょうほうを落とさないように聞こう メモの取り方のくふう 教科書：P54	3	【知識・技能】 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ) 【態度】 ・メモの取り方を工夫したり、相手に質問したりしながら、必要な情報について積極的に聞き、自分の考えをもとうとして
三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう リーフレットでほうこく 教科書：P58	10	【知識・技能】 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。((1)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

相手やもくてきに合わせて手紙を書こう いろいろな手紙 教科書：P64	2	【知識・技能】 ◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・粘り強くまちがいを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認、学習の見通しをもって、送る相手や伝える目的に合わせた手紙を書こうとしている。
言葉の文化① 短歌の世界 教科書：P66	4	【知識・技能】 ◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・すすんで易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって、言葉のリズムを楽しんだり様
漢字の広場② 漢字の音を表す部分 教科書：P72	2	【知識・技能】 ◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。((3)ウ) 【態度】 ・すすんで漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習課題にそって、「音を表す部分」を漢字を覚えたり使ったりすることに役立てようとしている。
都道府県名に用いる漢字 教科書：P74	1	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、都道府県名を覚えたり書いたりしようとしている。
三年生で学んだ漢字② 教科書：P76	2	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】

四 落語を声に出して楽しもう 落語 ぞろぞろ 教科書：P78	10	【知識・技能】 ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) ◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C(1)カ) 【態度】 ・すすんで場面の様子や登場人物の気持ちを具体的に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、今までの学習を生かして落語を音読したり演じたりして楽しもうとしている。
読書の広場② ひろがる読書の世界 教科書：P96	1	【知識・技能】 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。((3)オ) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C(1)カ) 【態度】 ・読書生活を振り返り、読みたい本を選んだり、これからの読書生活を考えたりしている。
五 話の組み立てを考えて発表しよう 写真から読み取る 教科書：P98	6	【知識・技能】 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態度】 ・粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

六 集めたざいりょうでわかりやすく伝えよう 作ろう学級新聞 教科書：P102	5	【知識・技能】 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・粘り強くまちがいを正したり文章を整えたりし、学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。
漢字の広場③ 送りがなのつけ方 教科書：P106	2	【知識・技能】 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ 【態度】 ・すすんで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字を正しく使おうとしている。
三年生で学んだ漢字③ 教科書：P108	2	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
七 場面の様子をくらべて読み、感想をまとめよう 一つの花 教科書：P110	10	【知識・技能】 ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)才 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)才) 【態度】 ・すすんで場面の様子を比べて読み、大切な言葉から作品に込められたメッセージや作者の思いを積極的に想像し、今までの学習を生かし、自分の考えたことや感想を感想文に書いて、伝え合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

言葉の広場② 修飾語 教科書:P124	2	【知識・技能】 ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)力) 【態度】 ・すすんで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見つけたり、修飾語の種類を見分けたりしようとしている。
八 自由に想像を広げて書こう 作ろう！「ショートショート」 教科書:P126	6	【知識・技能】 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。((1)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって「ショートショート」を書こうとしている。
言葉の文化② 「月」のつく言葉 教科書:P132	1	【知識・技能】 ◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。((3)イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・すすんで「月」に関わる言葉を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもって「月」に関係する言葉を集めようとしている。
国語の学習 つながる ひろがる 教科書:P134	1	【知識・技能】 ○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、上巻の教科書での国語の学習を振り返ったり下巻の教科書での国語の学習への希望を話し合ったりしようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

一 登場人物の気持ちの変化を考えて、日記を書こう ごんぎつね 教科書：P8	9	【知識・技能】 ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C1)エ ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C1)オ 【態度】 ・すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題にそって登場人物になりきって、気持ちの変化がわかるように日記を書こうとしている。
読書の広場③ 「読書発表会」をしよう 教科書：P30	5	【知識・技能】 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C1)カ 【態度】 ・ブックトークに向けて、すすんで本を集めたり発表内容を考えたりし、粘り強く活動に取り組んでいる。
言葉の広場③ 言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ 教科書：P34	4	【知識・技能】 ◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A1)イ 【態度】 ・すすんで、言葉には考えたことや思ったことを表すはたらきがあることに気づこうとし、学習課題にそって、言葉がもつイメージについて考えようとしている。
二 役わりに気をつけて話し合おう みんなが楽しめる新スポーツ 教科書：P38	8	【知識・技能】 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A1)オ 【態度】 ・積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

漢字の広場④ いろいろな意味を表す漢字 教科書：P44	2	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。
三年生で学んだ漢字④ 教科書：P46	2	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう ウミガメの命をつなぐ 教科書：P48	10	【知識・技能】 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C(1)ウ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) 【態度】 ・すすんで、本文を読んで自分が興味をもった部分を要約することを通して、学習課題にそって、本文をわかりやすく紹介する文章を書こうとしている。
言葉の広場④ 二つのことがらをつなぐ言葉 教科書：P60	2	【知識・技能】 ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) 【態度】 ・すすんで接続する語句の役割について理解し、学習の見通しをもって、接続語のはたらきを意識して正しく使い分けようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

四 調べたことをわかりやすく書こう クラスの「不思議ずかん」を作ろう 教科書：P62	6	【知識・技能】 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)オ) 【態度】 ・積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって
言葉の文化③ 故事成語 教科書：P68	4	【知識・技能】 ◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。((3)イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】
詩を読もう いろいろな詩／おおきな木 教科書：P74	1	【知識・技能】 ◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) 【態度】 ・すすんで、詩を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって発表し合おうとしている。
漢字の広場⑤ 熟語のでき方 教科書：P78	2	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

三年生で学んだ漢字⑤ 教科書：P80	2	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
五 自分の経験と結びつけて 考えたことを伝え合おう くらしを便利にするために 教科書：P82	6	【知識・技能】 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) 【態度】 ・積極的に筆者の考えと自分の考えを比べながら読むことを通して、具体例な経験をもとに考えをまとめることの有効性
目で見える言葉で話そう 手話であいさつをしよう 教科書：P92	1	【知識・技能】 ◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。(A(1)ア) 【態度】 ・手話には考えや思いを伝えるはたらきがあることに気づき、学習課題にそってすすんで手話であいさつをしようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

六 調べてわかったことを発表しよう 「便利」をさがそう 教科書：P94	8	【知識・技能】 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) 【態度】 ・身のまわりの「便利」について調べ、わかったことを図などの資料を示しながら、言葉の調子や強弱、間の取り方に気を
言葉の広場⑤ 点(、)を打つところ 教科書：P102	2	【知識・技能】 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。((1)ウ) ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) 【態度】 ・すすんで句読点のはたらきを理解し、学習課題にそって、文や文章の中で適切に使おうとしている。
七 伝えたいことをはっきりさせて書こう 自分の成長をふり返って 教科書：P104	10	【知識・技能】 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。((1)ウ) ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ◎「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) 【態度】 ・積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。
言葉の文化④ 雪 教科書：P110	1	【知識・技能】 ◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。((3)イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・すすんで、長い間使われてきた「雪」に関わる言葉の意味を知ろうとし、学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

漢字の広場⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け 教科書：P112	2	【知識・技能】 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ) 【態度】 ・すすんで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し、学習課題にそって、文や文章の中で正しく使おうとしている。
三年生で学んだ漢字⑥ 教科書：P114	2	【知識・技能】 ◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、お話の一場面を書こうとしている。
八 登場人物のせいかくや気持ちのうつり変わりを読もう 人形げき 木竜うるし 教科書：P116	8	【知識・技能】 ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C(1)カ) 【態度】 ・積極的に登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考え、学習課題にそって、考えたことを根拠をはっきりさせて伝え合おうとしている。
国語の学習 これまで これから 教科書：P142	2	【知識・技能】 ○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

第5学年 国語			
単元名	時数	単元のまとまりの評価規準	
ひみつの言葉を引き出そう	1	知・技	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。
		学び	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。
かんがえるのって、おもしろい	1	知・技	詩を音読している。
		思・判・表	「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。
		学び	進んで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
名前を使って、自己しょうかい／「続けてみよう	1	知・技	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。
		学び	積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書こうとし
銀色の裏地	5	知・技	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。
		思・判・表	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。
		学び	粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしてい
図書館を使いこなそう	1	知・技	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。
		学び	進んで読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。
漢字の成り立ち	2	知・技	漢字の由来、特質などについて理解している。
		学び	進んで漢字の由来、特質などに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
春の空	1	知・技	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。
		学び	積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。
きいて、きいて、きいてみよう	6	知・技	話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。
		学び	粘り強く話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

見立てる/言葉の意味が分かること/原因と結果	7	知・技	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。
			原因と結果など情報と情報との関係について理解している。
		思・判・表	「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。
			「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。
敬語	2	学び	粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
		知・技	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。
日常を十七音で	3	学び	日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。
			進んで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとしている。
		知・技	俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けている。
			比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。
4年生で習った漢字	1	思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。
		学び	粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しをもって俳句を作ろうとしている。
		知・技	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
古典の世界(一)	2	思・判・表	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。
		学び	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
目的に応じて引用するとき	2	知・技	親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
			古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。
		学び	進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとしている。
		知・技	情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。
みんなが使いやすいデザイン	8	思・判・表	「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
			進んで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとしている。
		知・技	情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。
同じ読み方の漢字	2	学び	粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。
		知・技	第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。
夏の夜	1	学び	進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。
		知・技	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。
			親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでい
作家で広げられた私たちの話		学び	積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。
		知・技	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

トキとムネのつなぐ本 書/モモ	5	思・判・表 学び	「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。
かぼちゃのつるが/われは草なり	2	知・技 思・判・表 学び	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 進んで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
どちらを選びますか	2	知・技 思・判・表 学び	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとしている。
新聞を読もう	2	知・技 思・判・表 学び	文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解している。 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 進んで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとしている。
文章に説得力をもたせるには	2	知・技 思・判・表 学び	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
4年生で習った漢字	1	知・技 思・判・表 学び	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
たずねびと	6	知・技 思・判・表 学び	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
4年生で習った漢字	1	知・技 思・判・表 学び	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
方言と共通語	2	知・技 学び	共通語と方言との違いを理解している。 進んで方言と共通語の違いに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
秋の夕	1	知・技 思・判・表 学び	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。 積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。
		知・技	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

よりよい学校生活のために/意見が対立したときには	7	思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。
		学び	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。
浦島太郎「御伽草子」より	1	知・技	親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。
		学び	時間の経過による言葉の変化に気づいている。 進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとしている。
和語・漢語・外来語	2	知・技	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づいている。
		学び	進んで和語・漢語・外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
固有種が教えてくれること/自然環境を守るために/統計資料の読み方	10	知・技	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。
		思・判・表	「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。
			「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。
		学び	粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。
カンジー博士の暗号解読	2	知・技	第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。
		学び	進んで漢字の読み方に関心をもち、これまでの学習をいかして漸次書こうとしている。
古典の世界(二)	1	知・技	親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。
		学び	進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。
4年生で習った漢字	1	知・技	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。
		学び	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
やなせたかしーアンパンマンの 勇気	5	知・技	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。
		思・判・表	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。
		学び	積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

あなたは、どう考える	6	知・技	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。
		学び	積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
冬の朝	1	知・技	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。
		学び	積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習の課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書こうとしている。
好きな詩のよさを伝えよう	2	知・技	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
		学び	積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。
言葉でスケッチ	2	知・技	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
		学び	粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとしている。
熟語の読み方	2	知・技	第5学年までに配当されている漢字を読んでいる。
		学び	進んで熟語の読み方に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
4年生で習った漢字	1	知・技	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。
		学び	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
想像力のスイッチを入れよう	6	知・技	文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。
		思・判・表	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
		学び	積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。
複合語	2	知・技	語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。
		学び	進んで複合語の構成や変化について関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
言葉を使い分けよう	3	知・技	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
		学び	積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとしている。
もう一つの物語	6	知・技	話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。
		思・判・表	「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。
「子ども未来科」で何をする	6	知・技	話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。
			文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。
		思・判・表	「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。
			「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。
大造じいさんとガン	7	学び	粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。
		知・技	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。
			文章を音読したり朗読したりしている。
		思・判・表	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりして「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
4年生で習った漢字	1	学び	積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとしている。
		知・技	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
		思・判・表	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。
5年生をふり返って	1	学び	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
		知・技	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。
		思・判・表	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。
		学び	進んで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

第6学年 国語		
単元名	時数	単元のまとまりの評価規準
伝わるかな、好きな食べ物	3	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ) 【態】積極的に表現を工夫し、これまでの学習をいかして互いの文章を読み合おうとしている。
帰り道	5	【知・技】 - 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) - 比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】進んで登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことについて考えを伝え合おうとしている。
公共図書館を活用しよう	2	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) 【態】進んで公共図書館の役割や特徴について知り、学習課題に沿って利用してみたいものや本の記録のしかたについて考えようとしている。
漢字の形と音・意味	2	【知・技】 - 第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) - 漢字の由来、特質などについて理解している。((3)ウ) 【態】進んで漢字の由来、特質などについて理解し、これまでの学習をいかして漢字を文や文章の中で使おうとしている。
聞いて、考えを深めよう	6	【知・技】 - 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) - 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【態】進んで話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習課題に沿ってインタビューをしようとしている。
漢字の広場	1	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態】積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして記事を書こうとしている。
時計の時間と心の時間	7	【知・技】 - 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) - 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) 【態】進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

文の組み立て	2	【知・技】文の中での語句の係り方や語順について理解している。((1)カ) 【態】進んで文の中での語句の係り方や語順について理解し、これまでの学習をいかして設問に取り組もうとしている。
たのしみは	3	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけている。(B(1)カ) 【態】学習の見通しをもって短歌を作り、積極的に短歌に対する感想や意見を伝え合おうとしている。
情報と情報をつなげて伝えるとき	3	【知・技】情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで情報と情報との関係づけのしかたについて理解を深め、学習課題に沿って報告書を書き直そうとしている。
デジタル機器と私たち	8	【知・技】 ・文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態】積極的に文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって提案する文章を書こうとしている。
夏のさかり	1	【知・技】語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。
私と本/星空を届けたい	5	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 【態】進んで読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかしてブックトークをしようとして
せんねん まんねん	2	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) 【態】積極的に表現の工夫に気づき、これまでの学習をいかして考えたことを伝え合おうとしている。
いちばん大事なもの	1	【知・技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) 【態】積極的に考えを広げ、学習課題に沿って考えを尋ね合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

インターネットでニュースを読もう	3	【知・技】文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) 【態】進んでニュースサイトの特徴を理解し、これまでの学習をいかしてニュースサイトと新聞を比較して読もうとしている。
文章を推敲しよう	3	【知・技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。((1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)
やまなし	8	【知・技】 ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) 【態】粘り強く物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって作品世界について考えたことを書き、伝え合おうとしている。
熟語のなりたち	3	【知・技】 ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・語句の構成や変化について理解している。((1)オ) 【態】進んで熟語の構成についての理解を深め、学習課題に沿って熟語を探したり組み合わせを考えたりしようとしている。
みんなで楽しく過ごすために	6	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っている。((1)オ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) 【態】粘り強く考えを広げたりまとめたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
話し言葉と書き言葉	1	【知・技】話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) 【態】進んで話し言葉と書き言葉との違いに気づき、これまでの学習をいかして設問に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

古典芸能の世界 狂言「柿山伏」を楽しもう	2	【知・技】 ・親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) 【態】 ・進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、これまでの学習をいかして「柿山伏」を音読したり演じたりしようとしてい
『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく	10	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) 【態】 ・粘り強く論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりし、学習の見通しをもって日本文化のよさを伝える文章を書こうとしている。
ガンジー博士の漢字学習の秘伝	2	【知・技】 ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。((1)ウ) ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【態】 ・工夫して漢字学習を行うことに進んで取り組み、これまでの学習をいかして漢字を正しく書こうとしている。
漢字の広場④	2	【知・技】 ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態】 ・積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
ぼくのブック・ウーマン	4	【知・技】 ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) 【態】 ・進んで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしてい

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

おすすめパンフレットを作ろう	6	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) 【態】 ・進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって推薦したいものをパンフレットにまとめようとしている。
冬のおとずれ	1	【知・技】 ・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】 ・積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。
詩を朗読してしょうかいしよう	2	【知・技】 ・詩を朗読している。((1)ケ) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 【態】 ・進んで詩を朗読し、これまでの学習をいかしてお気に入りの詩を紹介しようとしている。
知ってほしい、この名言	2	【知・技】 ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】 ・進んで集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習課題に沿って名言を紹介しようとしている。
日本の文字文化 【コラム】仮名づかい	2	【知・技】 ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。((1)ウ) ・語句の由来などに関心を持ち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。((3)ウ) 【態】 ・進んで仮名及び漢字の由来、特質などについて理解し、これまでの学習をいかして適切な表記を考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

漢字の広場⑤	1	【知・技】 ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態】 ・積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
「考える」とは	6	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 【態】 ・粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている
使える言葉にするために	1	【知・技】 ・第6学年までに配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【態】 ・進んで第6学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、読み方や意味が分からない言葉を辞書で調べようとしている。
日本語の特徴	3	【知・技】 ・語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・文の中での語句の係り方や語順について理解している。((1)カ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】 ・進んで日本語の特徴について理解を深め、学習課題に沿って日本語の特徴を紹介する文章を書こうとしている。
大切にしたい言葉	6	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】 ・積極的に自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって大切にしたい言葉に対する思いを書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

今、私は、ぼくは	6	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【態】 ・積極的に資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもって自分の思いや考えを伝えるスピーチをしようとしている。
海の命	6	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 【態】 ・積極的に文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習の見通しをもってそれぞれの人物の生き方に対する考えを話し合おうとしている。
漢字の広場⑥	1	【知・技】 ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態】 ・積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか	4	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・詩を朗読している。((1)ケ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 【態】 ・積極的に6年間の国語学習を振り返り、これまでの学習をいかして、詩を読んで感じたことを伝え合ったり、文章に対する自分の考えをまとめたりしようとしている。